

第16回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催：一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

昨今、歴史認識をめぐる日韓関係が冷え込む中、ヘイトスピーチに代表される「憎悪剥きだし」の民族差別事件が頻発するようになりました。一方で、日本政府は労働力不足の解消をめざし、ふたたび移民受入政策を実行しようとしています。そのこと自体は歓迎すべきですが、外国人の生活や教育、福祉といった人権課題が十分に整備されているとはいえません。それは在日コリアンの人権課題が解消されていないことに根本的な原因があるからです。当セミナーでは、在日外国人問題の原点である在日コリアンの歴史から現状まで幅広いテーマで講義を設定しました。在日コリアンの人権問題を通じて昨今の外国人の人権問題を考えていきたいと思っております。

－ 開 催 要 項 －

【日 程】

春 期 2014年 6月19日(木) 20日(金)

秋 期 2014年 10月31日(金)

冬 期 2015年 2月6日(金)

【会 場】(春期) 貸会議室・貸教室 内海 3階教室

(秋期・冬期) 貸会議室・貸教室 内海 2階教室

東京都千代田区三崎町 3-6-15 東京学院ビル 2階
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定 員】 80人

【参 加 費】 ・受講料 28,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 7,000円(フィールドワーク、日光東照宮と足尾
銅山観光の入場料分込みです)

・聴講料 c 4,000円(講義⑧の上映会とトーク)

*KMJ会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

6月12日(金)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。また、受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。お申し込み後、請求書をお送りします。領収書は、当日、資料と一緒に渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱東京UFJ銀行 生野支店 普通預金 3936599
名 義 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
理事長 仲尾宏

【春期講座】

一日目（6/19）

講義① 日光と朝鮮通信使

講師 仲尾 宏さん（当センター理事長、京都造形芸術大学客員教授）

徳川家康の墓のある日光東照宮に朝鮮通信使の一行が3度訪れています。それにはどのような背景があったのでしょうか。朝鮮通信使研究の第一人者である仲尾宏先生に読み解いていただきます。

講義② 『映画 s a y a m aーみえない手錠をはずすまで』 の制作をつうじて在日と部落問題を語る

講師 金 聖雄（キム ソンウン）さん（映画監督、演出）

今話題の映画『S a y a m a』を在日コリアンという立場で制作された金聖雄さん。金さんのこれまでの生い立ちから、映画の制作をつうじて見た部落差別問題、そして在日コリアンについて語っていただきます。

講義③ ヘイトクライムと民族差別の現状～取材を通じて～

講師 中村 一成さん（ジャーナリスト、元毎日新聞記者）

中村一成さんは、在日コリアンと日本人のダブル。現在は名前を韓国語読で一成（イルソン）と名のっています。昨今のヘイトクライム問題を中心に取材活動をすすめて、最近『ルポ京都朝鮮学校襲撃事件』という本を出版されました。中村さんがなぜ「イルソン」と名のるのか、そしてヘイトクライム現状をお話ししていただきます。

*一日目終了後、懇親会を実施します。参加ご希望の方はお申し込みください。

二日目（6/20）

講義④ フィールドワーク

日光の朝鮮通信使と足尾の朝鮮人強制動員

案内 仲尾 宏さん（当センター理事長、京都造形芸術大学客員教授）

案内 崔 朝雄（チェ チョウン）さん（栃木県朝鮮人強制動員真相調査団）

今回のフィールドワークは栃木県の日光東照宮と足尾銅山を訪問します。日光東照宮では朝鮮通信使関連の遺跡をめぐり仲尾宏先生に解説をいただきます。一方、足尾銅山では朝鮮人および中国人の強制動員をめぐるさまざまな問題について、実際の現場を訪ねて、真相究明に取り組んでこられた崔朝雄さんより解説をいただきます。

*コース予定

今市客館跡－朝鮮通信使が日光に向かう途中に宿泊した場所。現在は公園。

日光東照宮－朝鮮通信使が寄贈した『朝鮮鐘』『三具足』を見ることができる。

足尾銅山観光－足尾銅山の歴史を学び体験できる施設。

足尾銅山－朝鮮人犠牲者追悼碑、中国人殉難者慰霊塔ほか坑道入り口など。

*フィールドワークについて

- ① JR宇都宮駅改札口に9：30集合です。
- ② 昼食は日光東照宮でいただく予定です。
- ③ 少し歩きますので軽装でお越し下さい。

【秋期講座】(10/31)

講 義⑤ 日本は過去とどう向き合ってきたか

講 師 山田 朗さん(明治大学文学部教授)

「歴史を直視することで歴史認識のギャップを埋める」山田先生は最近の著書『日本は過去とどう向き合ってきたか』で語っています。日本はこの問題にどう向き合ってきて、どうすればいいのか山田先生が明快に答えてくれます。

講 義⑥ 民族差別撤廃運動の歴史と現状

講 師 高 敬一(コキョンイル)さん(KMJ事務局長)

戦後、日本社会には多くの民族団体が生まれ、祖国への帰国や生活権の獲得などさまざまな運動を展開してきました。それらを客観的に評価し、これからの民族差別撤廃運動の方向性を明らかにしていきます。

講 義⑦ 新在留管理制度施行から3年 その問題点と課題

講 師 趙 慶済(チョウキョンジェ)さん(司法書士)

新在留管理制度が施行されて3年、はたして在日外国人の生活はよくなったのでしょうか？実務者であり当事者の立場から趙先生に問題点と課題についてお話しいただきます。

【冬期講座】(2/6)

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

『東日本大震災 東北朝鮮高校の記録 2011.3.15-3.20』(67分)

『東日本大震災 東北朝鮮高校の記録 part2 after school』(67分)

東日本大震災直後に宮城県仙台市にある東北朝鮮高校にはいり、在日コリアンたちの姿を撮影した貴重な記録映像。朝鮮学校を中心とした被災地の在日コリアンコミュニティの震災直後のようすを最も早い段階で、最もまとまった形で記録したです。東日本大震災の記憶が風化しつつあるなかで、改めて震災とマイノリティーの問題を考えたいと思います。またゲストに監督の朴思柔さんをお呼びし、当時のようすや最近のことなどおうちがいの予定です。

トーク

司 会 高 敬一さん (KMJ 事務局長)

ゲスト 朴 思柔 (パク サユ) さん (コマプレス)

*コマプレスは「小さな声、低い視線」をモットーに、ソウル出身の朴思柔と在日朝鮮人3世の朴敦史が結成。「コマ(꼬마)」は朝鮮語で子ども、小さきものの意。在日コミュニティや民族教育の現場を取材。現在、大阪朝鮮高級学校ラグビー部を追った『60万回のトライ』を上映中。

【スケジュール】

6 / 1 9 (木)	6 / 2 0 (金)	1 0 / 3 1 (金)	2 / 6 (金)
9:30 受付開始	9:30 JR宇都宮駅集合	9:30 受付開始	12:30 受付開始
9:55 開 会	9:45 JR宇都宮駅出発	9:55 開 会	13:00 講義⑧
10:00 講義①	10:30 今市客館跡	10:00 講義⑤	16:45 終 了
11:50 昼 食	10:45 出 発	11:50 昼 食	
13:00 講義②	11:00 日光東照宮	13:00 講義⑥	
14:50 休 憩	12:15 休 憩	14:50 休 憩	
15:00 講義③	13:00 出 発	15:00 講義⑦	
16:50 閉 会	13:40 足尾銅山観光	16:50 閉 会	
17:00 終 了	14:40 出 発	17:00 終 了	
	14:50 足尾銅山入口		
	16:30 出 発		
	17:40 JR宇都宮駅解散		

☆連絡先

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
担 当 高 敬一 (コ・キョンイル) まで
〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
e-mail: kmj@star.odn.ne.jp URL: http://kmjweb.com

第16回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(F A X 0 6 - 6 7 1 7 - 2 7 0 2)

受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

聴講（聴講希望講義番号 _____ ）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、仲尾さんの講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

- | |
|-------------------------------------|
| ① 日光と朝鮮通信使 仲尾宏さん |
| ② 映画sayamaの制作をつうじて 在日と部落問題を語る 金聖雄さん |
| ③ ヘイトクライムと民族差別の現状～取材をつうじて 中村一成さん |
| ④ フィールドワーク 日光の朝鮮通信使と足尾の朝鮮人強制動員 |
| ⑤ 日本は過去とどう向き合ってきたか 山田朗さん |
| ⑥ 民族差別撤廃運動の歴史と現状 高敬一さん |
| ⑦ 新在留管理制度施行から3年 その問題点と課題 趙慶済さん |
| ⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク『東日本大震災 東北朝鮮学校の記録』 |

フリガナ		勤務先名 担当部署	
受講者			
住所 電話 F A X	〒 T E L	F A X	

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		<input type="checkbox"/> 受講 <input type="checkbox"/> 聴講（番号 _____ ）
		<input type="checkbox"/> 受講 <input type="checkbox"/> 聴講（番号 _____ ）
		<input type="checkbox"/> 受講 <input type="checkbox"/> 聴講（番号 _____ ）

* 6月19日（木）セミナー終了後の懇親会

参加

事務確認欄（事務確認欄は記入しないでください）

受付No	受付日	入金日	担当者	備考